

「無保険」子どもも700人も

福岡市

国民健康保険証とりあげで医療受けられず

高い国民健康保険料が払えず滞納した世帯が保険証をとりあげられ、子どもが「無保険」になって医療が受けられない事態が全国的に大問題となっています。厚生労働省は調査を始めましたが、福岡市でこうした無保険の子どもが698人いることが分かりました。

日本共産党の星野美恵子市議は、10月23日の決算特別委員会総会で、子どもが医療を受けられるよう早急な解決を要求しました。



星野美恵子市議

早急に解決を

福岡市には就学前までの子どもの医療費を無料にする「乳幼児医療費助成制度」がありますが、市が無保険の乳幼児には適

用せず、窓口で全額負担を強いていることも問題です。

これに対し他の市では、

「滞納世帯でも子どもには保険証を交付する」「子どものいる世帯の保険証はとりあげない」など対策がすすんでいます。

吉田市長は星野市議の要求に対し検討さえしようとする冷たい態度を示しましたが、国保料を高くしておいて、払えない家庭から保険証をとりあげ、子どもまでも無保険状態に放置することは許されません。

少なくとも子どもには早急に保険証を交付して子どもの健康と命を守るべきです。



ひどい！市が学資保険まで勝手に「差押え」

福岡市は国民健康保険料の滞納世帯に対し、財産「差押え」を強化し、3年間で7倍に増やし、昨年度は828件、約4億円に。星野市議は、冷酷非情な差押えの実態を示し追及しました。

Bさんは自営業を廃業したため滞納していた国保料の減免申請を区役所に提出していましたが、区役所は着々と差押え準備だけを行い、不備だった申請書類の提出をBさんに促さないまま期限切れに。そして、10月に満期となった学資保険から28万円の国保料を勝手に差し引き、その通知を一方的にBさんに送りつけました。



星野市議は「子どもの進学のためにとこつこつ貯めてきた学資保険を取り上げられ、大変ショックを受けている。お金を返して謝罪すべきだ」と迫りましたが、保険福祉局長は拒否しました。

市は「差押えも重要な手段」と言いますが、そもそも差押えの前に、滞納している家庭の実情をよく聞き、減免や分納など親身な相談にのることこそ、行政の仕事です。

日本共産党

www.jcp-fukuoka.jp

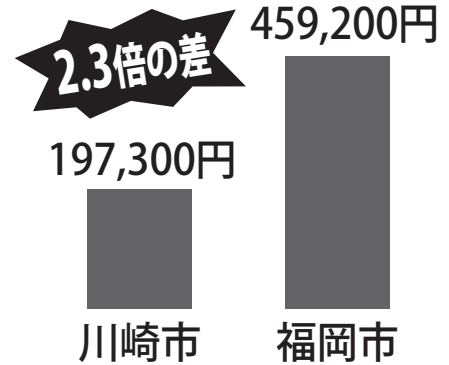
福岡市議会ニュース

1044号 2008年10月 <議会報告> ご意見をお寄せください
発行:日本共産党福岡市議団 福岡市中央区天神1-8-1
電話092-711-4734 FAX741-4627

今年度も政令市一高い 福岡市の国保料

福岡市の国民健康保険料は14万署名の力で所得割の引き下げを実現したものの、依然政令市一高いまま。収入の2割など、支払能力をはるかに超えています。滞納世帯からの保険証とりあげ(資格証明書の発行)は、福岡市で15000件(発行率で政令市最悪)にのぼります。命と健康を守る医療保険が、市民の貧困をひどくし、社会的弱者から医療を奪うことなどあってはなりません。

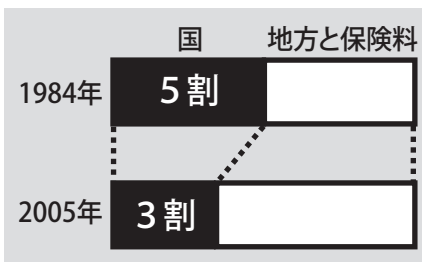
日本共産党は国保料を抜本的に引き下げることを提案します。



年所得割算定基礎額200万円の3人世帯の場合
(2008年度、負担緩和措置適用前)

日本共産党の提案

国保料一人1万円引き下げを



削った国庫負担を元に戻す

歴代政府は国保に対する国の責任を次々と後退させ、20年間で国庫支出金を約2兆円分も減らしました。これが市町村の国保会計の赤字と国保料引き上げの一番の原因です。元に戻して国保料を引き下げるべきです。

市の国保予算を大幅に増やす

国保料が高すぎて払えず、滞納が増え、滞納分や赤字分がまた保険料に上乘せされる。福岡市の国保料が高すぎるのは、この「悪魔のサイクル」を放置しているから。国保会計への一般会計からの繰り入れをもっと増やすべきです。

国保料一人1万円の
引き下げに必要な予算

38億円

人工島予算
(2008年度)

212億円

社会保障予算を毎年2200億円 も削減する自民、公明に審判を

国保の他にも、お年寄りを差別する後期高齢者医療制度、介護難民や医療崩壊を生み出した医療改悪、年金カット、生活保護削減など、財界いいなりで社会保障予算を減らし続ける自民、公明の政治はもうごめんです。

今年も「国保料引き下げ 署名」にご協力を



日本共産党

www.jcp-fukuoka.jp

福岡市議会ニュース

1044号 2008年10月 <議会報告> ご意見をお寄せください
発行: 日本共産党福岡市議団 福岡市中央区天神1-8-1
電話092-711-4734 FAX741-4627